

関係各位

千葉県農林総合研究センター
土壌環境研究室

令和 7 年度関東東海北陸農業試験研究推進会議土壌肥料部会・秋季研究会の参加申込について

標記研究会につきまして、農研機構 中日本農業研究センターからの案内のとおり、本年度は千葉県で開催します。つきましては、下記の方法で期日までに参加をお申し込みください。

なお、本連絡は各都県・機関の代表者のみに送付しますので、貴都県・機関の関係者の皆様への連絡にご配慮いただきますようお願いいたします。研究会の詳細は別紙のとおりです。

記

1 申し込み方法

以下の URL または二次元コードからフォームにてお申し込みください。

※ メールによる受け付けは行いません。

※ 申し込みの取りまとめは、農研機構 中日本農業研究センターが行います。

<https://forms.office.com/r/fujUBWDavH>



申し込み締め切り：9月5日（金）

※ 9月5日までの変更は、再度、上記 URL からフォームに必須事項を入力し、「10. 秋季研究会事務局への連絡事項」欄に変更・取り消しの旨をご記入の上、送信ください。

※ 9月6日以降に変更が生じた場合は、事務局（carc-soil_autumn-meeting@ml.affrc.go.jp）にご相談下さい。

2 その他連絡事項

（1）宿泊施設は、各自で手配してください。

（2）研究会会場へは、千葉都市モノレール葭川公園駅から徒歩 3 分または J R 千葉駅から徒歩 10 分、京成千葉中央駅から徒歩 7 分です（地図参照）。

（3）10月7日（火）の昼食について

ご来場前に各自でお取りください。飲食店は千葉都市モノレール葭川公園駅、J R 千葉駅及び京成千葉中央駅周辺に多くあります。

※ 会場内での飲み物は各自でご用意ください（初日のお茶の配布はありません）。

（4）オンライン接続情報について：研究会は対面とオンラインによるハイブリッド開催です。後日、オンライン参加の方には接続情報を送信します。

資料は事前に PDF ファイルで配布（送信）しますので、各自で印刷してご用意ください（会場での配布は行いません）。

（5）情報交換会について

10月7日（火）18：00までに情報交換会会場（地図参照）にお越しください。会費（6,000 円）は研究会の受付にて承ります。

（6）現地検討会について

10月8日（水）は、8：25までに集合（地図参照）、受付をお願いします。

帰路は、J R 千葉駅にて 12：00 解散の予定です。

3 問い合わせ先

(1) 関東東海北陸農業試験研究推進会議土壌肥料部会・秋季研究会

ア 農研機構 中日本農業研究センター 温暖地野菜研究領域 環境保全型栽培グループ
徳田 進一 (Tel: 029-838-8958、e-mail: carc-soil_autumn-meeting@ml.affrc.go.jp)

イ 関東東海土壌肥料技術連絡協議会・秋季研究会

(ア) 正会員：農研機構 中日本農業研究センター 転換畑研究領域 畑輪作システムグループ
鈴木 克拓 (Tel: 029-838-8834、e-mail: suzuki.katsuhiko714@naro.go.jp)

(イ) 賛助会員及び準会員：J A全農 耕種総合対策部 東日本T A C・生産対策室

山崎 晴民 (Tel: 03-6271-8296、Fax: 03-5218-2535、e-mail: yamazaki-haruhito@zennoh.or.jp)

(2) 現地検討会（10月8日）

千葉県農林総合研究センター 土壌環境研究室

山本 幸洋 (Tel: 043-291-9990、Fax: 043-291-5319、e-mail: yymmt7@pref.chiba.lg.jp)

担当：千葉県農林総合研究センター 土壌環境研究室 室長 山本 幸洋

● 10月7日（火） 12時15分受付開始

研究会会場：「千葉市文化センター 5階 セミナー室」

（千葉県千葉市中央区中央2-5-1 TEL: 043-224-8211）

千葉都市モノレール葭川公園駅から徒歩3分またはJR千葉駅から徒歩10分
対面とオンラインによるハイブリッド開催



※研究会初日の昼食は、ご来場前に各自でお願いします。

飲食店は千葉都市モノレール葭川公園駅、JR千葉駅及び京成千葉中央駅周辺に多くあります。

● 10月7日（火）18時から 情報交換会

情報交換会会場：「Pizza & Pasta Ganzo」

（千葉県千葉市中央区富士見2-22-7 いさみやビル TEL: 043-202-2885）

千葉市文化センターから徒歩5分、京成千葉中央駅から徒歩2分、千葉都市モノレール葭川公園駅から徒歩3分、JR千葉駅から徒歩7分



● 10月8日（水） 現地検討会

現地検討会に参加される場合は移動用の貸切バスにご乗車ください。

8時25分までに以下の集合場所（赤で囲った所）にお集まりください。



集合場所：「JR千葉駅東口17番乗り場」
「千葉興業銀行千葉駅前支店」の前です。

令和7年度関東東海北陸農業試験研究推進会議土壌肥料部会・秋季研究会

1 日時

令和7年10月7日（火） 13：15～17：00

関東東海北陸農業試験研究推進会議土壌肥料部会・秋季研究会

令和7年10月8日（水） 8：25～12：00

現地検討会

2 内容

関東東海北陸農業試験研究推進会議土壌肥料部会 令和7年度秋季研究会

- ・日時 令和7年10月7日（火） 13：15～17：00
- ・場所 千葉市文化センター 5階セミナー室（千葉市中央区中央2-5-1）及びオンライン
- ・テーマ バイオ炭の利活用技術と応用展開
 - （1）バイオ炭の利活用とJ-クレジットについて
岸本 文紅 氏（農研機構 農業環境研究部門）
 - （2）バイオ炭を活用した地域循環型モデルの構築（仮）
竹下 光雄 氏（株式会社長大 事業推進本部）
 - （3）山梨県での4%イニシアチブの取り組みについて
山崎 修平 氏（山梨県総合農業技術センター）
 - （4）事例紹介
 - 1）ネギ圃場へのバイオ炭施用に向けた取り組み
鈴木 結花 氏（千葉県農林総合研究センター）
 - 2）GI基金事業における取り組み（水稲関係）
白土 宏之 氏（農研機構 中日本農業研究センター）
 - 3）炭化鶏ふん資材をPK資材として活用した野菜栽培の試み
ー地温からバイオ炭の効果を解明するー
垣内 悠太郎 氏（農研機構 中日本農業研究センター）
 - 4）北総 cool-village と環境保全型野菜の販売
喜屋武 誠司 氏（北総クルベジファーマーズ/有限会社ゆうき）
 - （5）総合討議

3 現地検討会 10月8日（水） 8：25～12：00

バス2台で移動します。

- ・JA市原市姉崎蔬菜組合（市原市深城825）
千葉県を代表する耕地である黒ボク土露地畑において、ダイコンの産地化とブランド化に取り組んでいる。
- ・千葉県農林総合研究センター（千葉市緑区大金沢町180-1）
千葉県の黒ボク土露地畑における野菜に関する試験研究の現状
黒ボク土露地畑における土壌浸透水採取施設パンライシメーターの視察